

令和6年度 研究・調査企画会議 事後評価部会（第1回）

議事概要

1 日時：令和6年8月30日（金） 9：00～12：35

2 場所：食品安全委員会中会議室（Web 会議システムを利用）

3 出席者（8名）五十音順

荒川 宜親 藤田医科大学医学部客員教授

磯 博康 国立研究開発法人国立国際医療研究センター

国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センターセンター長

小澤 正吾 元・岩手医科大学教授

鬼武 一夫 日本生活協同組合連合会品質保証本部総合品質保証担当

◎眞鍋 昇 東京大学名誉教授

宮崎 茂 一般財団法人生物科学安全研究所参与

横田恵理子 慶應義塾大学薬学部准教授

四方田千佳子 国立医薬品食品衛生研究所客員研究員

（◎：座長）

その他、食品安全委員会から山本委員長ほか3名が、事務局から中事務局長ほか9名が出席した。

4 議事概要

（1）研究・調査企画会議の設置及び調査審議事項等について

○ 事務局から「食品安全委員会食品健康影響評価技術研究の評価に関する指針」の改正について説明した。

（2）令和5年度終了研究課題の事後評価（ヒアリング審査）

○ 令和5年度に終了した研究課題（5課題）の成果について事後評価を行うため、各課題の主任研究者に対しヒアリング審査を実施した。

○ 各委員の意見を取りまとめ、各課題の評価所見(案)を作成した上で、次回の事後評価部会で当該案の審議を行うこととなった。

<事後評価対象課題>

- ・国内の鉛ばく露の実態と小児の神経発達への影響に関する研究
- ・アニサキス食中毒のリスク評価に関する調査研究
- ・*Campylobacter jejuni* における未解明な環境適応機構に対する新しいアプローチの確立
- ・化学物質による非遺伝毒性発がんの新規リスク予測・評価手法の開発
- ・細胞培養技術を用いて製造される食肉のリスク評価手法に関する研究

(3) 研究・調査事業に関する動向等

- 事務局から「令和5年度追跡評価結果」、「食品の安全性の確保のための研究・調査の推進の方向性（ロードマップ）の改正」、「食品健康影響評価を担う若手専門家の育成枠の開始」について報告した。

－ 以上 －

(注：本部会は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。)